

頼もしい子 ~心の宝物に満ちた学校~

令和6年1月24日

2024年の目標

校長 尾崎 友美

例年に比べてとても穏やかな天候で迎えた2024年でしたが、元日夕方発生した能登半島地震によって一変しました。関係の皆様にご心からお見舞い申し上げます。学校では、各教室で自分の命を守る行動について改めて確認し、命を守る訓練を実施したところです。正しい知識を持ち、万一の時には正しい判断、行動ができるよう繰り返し指導していきます。

1月9日から始まった3学期。それぞれの学級で3学期の目標や今年の抱負などを話したり書いたりしました。写真は5年生廊下に掲示された「書き初め」です。それぞれ思い思いの言葉が力強く書かれています。どのような気持ちを込めて書いたのか尋ねてみました。



「前へ進む」

この言葉に込めた意味は、勉強で、もし分からないところや、追いついていないところがあった時に、先生やお母さんに聞いたりして分かるようにしたいことです。また、学校でいろんなことにチャレンジしてできることを増やして、みんなの役に立ちたいです。そして学級の仲間との仲を深めたり、みんなで学校のリーダー的な存在になったりして、一步ずつ前へ進んでいけたらいいな、と思ったので、この言葉を選んで書きました。

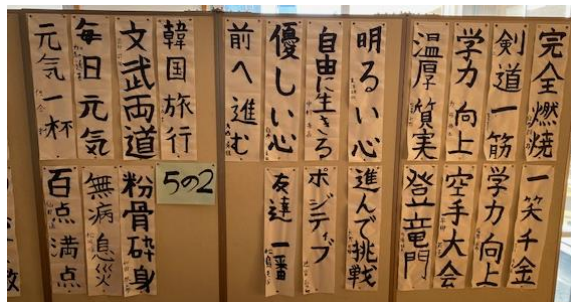
「切磋琢磨」

私がなぜこの字にしたかという、自立しなければと思ったからです。5年生の1、2学期は学年全体で「心を一つに」「協力」を合い言葉にしてがんばってきました。けれど、担任の先生から

「3学期は、一人一人が飛び立てるようになろう」

という話を聞きました。確かに協力することも大切だけど、一人でもできるようになることも大切だと感じました。だから、これからはみんなと励まし合って競い合っていきたいという思いでこの字を選びました。

多くの5年生が、原稿用紙いっぱい思いをつづって私に届けてくれました。「成長したい」「高まりたい」という熱量に圧倒されました。ご家庭で年末年始の団らん時に話題にされたのだろうと想像できます。もしかしたら親の前では、照れて新年の抱負を語るのを避けた子がいるかもしれません。しかし、確かに子ども達は自分を高める目標をもって2024年のスタートを切っています。子ども達の成長を心から願う私たち大人は、その目標に向かう努力を応援し、時には成し遂げるために必要なことを教える。そんな一年にしていきたいと思います。



見えない心を見る ～データから見る子ども達の心～

今号では、埴岡教頭先生、横谷先生（保健室）、米田先生（生徒指導担当）にインタビューしました。

◇今年度の「心のアンケート」や9月から運用している「ここタン」の状況から見える子ども達の心の状態は。

米田「学校が楽しいと思っている子は多いです。その一方、『自分にはいいところがある』という質問に『ある』と答えられない子がいます。でも話してみると、できることや得意なことがいくつも出てきて安心することがあります。」

横谷「表情だけではわかりにくいことも『ここタン』なら表れることがあります。午前・午後の2回回答をさせていますが、一日の中で大きく変化する子がいて驚きます。」

教頭「確かに表情と心の中とのギャップは大きいと感じることはあります。アンケートを使いながらも、子ども達の表情や声色で変化を感じる教員でありたいと思います。」

◇子ども達の自己肯定感が高まるといいと思っていますが、日々の指導で意識していることは。

米田「私自身からも子ども達同士でもよいことみつけを通してコミュニケーションを図ることで。人と話して自分を肯定的に理解することができると思っています。」

横谷「よく観察することは心がけています。保健室では一対一で話せます。物事をポジティブにとらえられるように言い換えをしながら話をします。いいなど思う言動は学級担任とも共有します。」

教頭「前向きな行動をとりやすいきっかけづくりをしています。『楽しそう』『やってみたい』と思えるように考えています。そして、行動を認めるだけでなく、その根底にある値打ちも伝えるようにしています。そこまで伝えきってこそ肯定感を高められるのではないかと思います。」

◇大人も自己肯定感を高めてもらいたい。3人で褒め合って！

米田「教頭先生とは前任校も同じ。『困ったら持って来い』と言ってくれる安心感があります。でも、すぐに答えは教えてもらえない。私が自分で考える時間、そしてその道標をいつもくれます。」

教頭「横谷先生の『ささやき攻撃』。声のトーン、何気ない振る舞いも落ち着いているので、子ども達も大人達も安心します。保健室では時々ストレッチをしてみえて、『いつでも駆けつけますよ』という勢いを感じます。」

横谷「ばれてました……。米田先生は子ども達に『マジですごい』『マジでうれしい』って言う時があるのですが、そのくだけた言葉が正直な気持ちを表しているようで、子ども達にストレートに伝わっています。子ども達がうれしそうですね。」

米田「マジ照れる……。」

子ども達を多面的に見るために、学級担任を中心に複数の職員が様々な場で子ども達に関わり、日常的に情報共有をしています。この3人がそのハブ的役割を果たしています。

大人だって人からどう見られているかは気になるもの。職員室で認め合えるような機会をもっと持とうと思いました。

ついに届きました！



メジャーリーガー・大谷翔平選手から野球グローブのプレゼントが届きました。6年生のプロジェクトチームが貸し出しのルールを決めてお知らせしました。休み時間にはキャッチボールを教えてくれるそうです。大切に使いたいと思います。

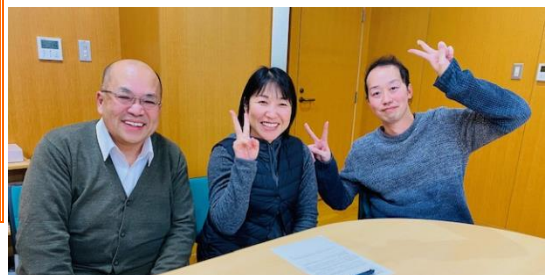
2月の主な行事予定

- 1日（木）いじめ防止サミット
- 2日（金）校外学習（6年生）
- 8日（木）なわとび集会
- 8日（木）～16日（金）家庭学習ウィーク
- 9日（金）漫才ワークショップ（4年生）
- 15日（木）授業参観・学級懇談会
- 19日（月）午前授業（給食あり）
- 22日（木）新入児入学説明会
- 27日（火）6年生を送る会

3月の主な行事予定

- 15日（金）大掃除（全学年5時間授業）
- 22日（金）卒業式準備
- 25日（月）卒業式（1～3年生休業日）
- 26日（火）修了式・離任式
- 27日（水）～4月7日（日）春休み
- 4月8日（月）始業式、入学式

※予定が変更になることもあります。



埴岡教頭先生 横谷先生 米田先生